

いま日本で起きていること 平和実現の道を考える！

自公政権による「戦争できる国」づくりは、日米軍事一体化や敵基地攻撃能力保有に加え、実践さながらの軍事演習や沖縄など島部の避難訓練等にまで及んでいます。そして、大軍拡のための突出した防衛費は国民生活や社会保障を犠牲にし、増税など新たな負担が懸念されます。今回の講演会では、いま日本で起きている「戦争できる国」づくりの実相を学ぶとともに、軍事力によらない平和構築の道を探っていきます。

とき 10月18日(土) 14:00 開会

開場 13:30 閉会 16:40

ところ 北とぴあ 15階 ペガサスホール

東京都北区王子1-11-1 ☎03-5390-1100 会場案内は裏面に表示

講演 「敵基地攻撃と日米一体化 防衛費倍増は国民負担に」 半田 滋さん(防衛ジャーナリスト)

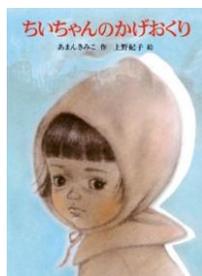
1955年(昭和30)生まれ。防衛ジャーナリスト、獨協大学非常勤講師、元東京新聞論説兼編集委員。元法政大学兼任講師。元海上保安庁政策アドバイザー。92年より防衛庁(省)取材を担当。

2007年、東京新聞・中日新聞連載の「新防人考」で第13回平和・協同ジャーナリスト基金賞(大賞)を受賞。

著書に「パラレル 憲法から離れる安保政策」(地平社)「台湾進攻に巻き込まれる日本」(あけび書房)「戦争と平和の船、ナッチャン」(講談社)「変貌する日本の安全保障」(弓立社)「日本は戦争をするのかー集団的自衛権と自衛隊」(岩波新書)「僕たちの国の自衛隊に21の質問」(講談社)など多数。



朗読 「ちいちゃんのかげおくり」 (朗読の会 こだまのみなさん)



協力費 会場参加者 1,000円

主催 損保9条の会・生保9条の会

主催窓口

損保9条の会 公式ホームページ <http://www.sompo9.org>

平和への誓い

一人一人の声を紡ぎながら 平和を創り上げていく

いつかはおとずれる、被爆者のいない世界。

同じ過ちを繰り返さないために多くの人が事実を知る必要があります。

原子爆弾が投下されたあの日のことを、思い浮かべたことはありませんか。

昭和20年（1945年）8月6日

午前8時15分。

この広島に人類初の原子爆弾が投下され、一瞬にして当たり前の日常が消えました。

誰なのか分からないくらい皮膚がただれた人々。

涙とともに止まらない、絶望の声。

一発の原子爆弾は、多くの命を奪い、人々の人生を変えたのです。

被爆から80年が経つ今、本当は辛くて、思い出したくない記憶を伝えてくださる被爆者の方々から、直接話を聞く機会は少なくなっています。

どんなに時が流れても、あの悲劇を風化させず、記録として被爆者の声を次の世代へ語り継いでいく使命が、私たちにはあります。

世界では、今もどこかで戦争が起きています。

大切な人を失い、生きることに絶望している人々がたくさんいます。

その事実を自分のこととして考え、平和について関心をもつこと。

多様性を認め、相手のことを理解しようとする事。

一人一人が相手の考えに寄り添い、思いやりの心で話し合うことができれば、

傷つき、悲しい思いをする人がいなくなるはずで。

周りの人たちのために、ほんの少し行動することが、

いずれ世界の平和につながるのではないのでしょうか。

One voice.

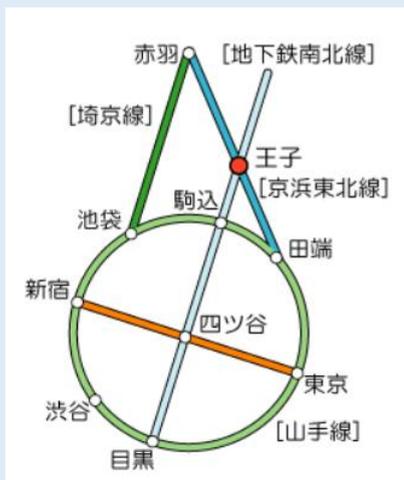
たとえ一つの声でも、学んだ事実に思いを込めて伝えれば、変化をもたらすことができるはずで。

大人だけでなく、子どもである私たちも平和のために行動することができます。

あの日の出来事を、ヒロシマの歴史を、二度と繰り返さないために、

私たちが、被爆者の方々の思いを語り継ぎ、一人一人の声を紡ぎながら、平和を創り上げていきます。

< 会場までのご案内 >



JR「王子」駅北口・都電荒川線「王子駅前」より徒歩2分
地下鉄南北線「王子」駅5番出口直結